

令和7年度 事業計画書・収支予算書

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して
挑戦と行動が福島未来を創る



福島商工会議所

令和7年度 事業計画書・収支予算書(案)

目 次

■事業計画書

第1部 令和7年度事業の考え方と推進体制

1. 基本理念	1
2. 事業方針と施策目標	2
3. 推進体制	4

第2部 施策体系と各種事業

施策Ⅰ 活力ある福島の創造	6
施策Ⅱ 会員事業所の発展	8
施策Ⅲ 魅力ある商工会議所	12

第3部 部会・委員会事業

1. 部会事業	14
2. 委員会事業	23

■収支予算書	31
--------	----



福島商工会議所
プロフィール

設 立／大正6年7月28日

※県内で1番目、全国で66番目の商工会議所として設立

所 在 地／福島市三河南町1-20 コラッセふくしま8階

法的根拠／商工会議所法

※昭和28年8月1日法律第143号

会 員 数／3,544件（R7.2.28現在）

議員定数／130



商工会議所マークは、商工会議所の英語名 CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRYの頭文字CCIを図案化したもので、昭和32年に日本商工会議所が全国から募集し、1等に入選した作品です。

1. 基本理念



足腰の強い「健都ふくしま」を目指して ～挑戦と行動が福島の未来を創る～

福島商工会議所 会頭 渡 邊 博 美

世界では混迷が続いており、また社会や価値観の変化、生成AIに代表されるデジタル技術の劇的な変化など、経営を取り巻く環境は日々変わり、社会の状況も多様化かつ複雑化しており、経営の安定と発展に向けた取り組みが求められています。

福島市を取り巻く環境も課題が山積していますが、一步ずつ進み始めてもおります。20年ぶりとなる「2025年大阪・国際万博」に世界が注目するなか、福島わらじまつりが参加します。これまで福島の広告塔として、各地に遠征してきた祭りが、今年は国際舞台で福島市の文化と元気、そして風評払拭に向けた情報を世界に向けて発信します。また、国内最大規模の観光キャンペーンであるふくしまデスティネーションキャンペーンが令和7年から9年にわたり開催されます。まずは、今年の4月から6月にかけてプレデスティネーションキャンペーンが始まり、福島県立美術館では今年7月から「金曜ロードショーとジブリ展」、令和8年2月からは「大ゴッホ展」が開催されるなど、大型観光イベントが目白押しとなっており、多くの来福者が見込まれる絶好のチャンスであり、福島市の関係人口増加と市内周遊に向けて取り組んで参ります。

中心市街地の活性化においても、駅東口地区再開発事業の民間エリアでは福島の食文化を集積・発信する体験型フードホールが決まり、福島市のコンベンション施設の基本設計も決まりました。再開発事業や公共施設はまちと市民に希望を与えてくれる大切な存在であり、2029年春の開業予定に向けて、当所としても継続して駅東西一体のまちづくりへの支援と駅前の賑わい確保に取り組み、様々な世代が希望と魅力を感じるまちとなるよう努めて参ります。

ここ数年、会員事業所の廃業が増加していますが、事業承継や事業再構築などの経営課題に対して、社会に変革をもたらした生成AIを活用し、巡回を含めた伴走支援に新たに取り組めます。また価格高騰、人材不足、デジタル化、相次ぐ自然災害や脱炭素経営への対応など、喫緊の諸課題への支援にも引き続き取り組んで参ります。

これら活動に取り組み、真に頼られる商工会議所となるため、経営指導員の資質向上を図るとともに、経営に必要な情報発信と515商工会議所・120万会員のネットワークを活用した創意工夫のプラットフォームを目指します。併せて、令和9年の創立110周年に向けて商工会議所自らの組織・財政基盤の強化にも取り組んで参ります。

当所は会員事業所の発展と地域の活性化のため、「足腰の強い『健都ふくしま』を目指して」を基本理念に掲げています。令和7年度は「挑戦と行動が福島の未来を創る」を年間テーマとし、「活力のある福島の創造」「会員事業所の発展」「魅力ある商工会議所」の3つの使命を果たすために、前例にとらわれず、地域と会員事業所の発展に向けて常に挑戦する商工会議所として全力で取り組んで参ります。

2. 事業方針と施策目標

令和7年度 事業計画(案) 【年間テーマ】「挑戦と行動が福島」

I 活力ある福島の創造 ～地域経済の活性化～

福島のまちを次の世代につなぐため、住み続けたいまち、帰ってきたくなるまち、希望と誇りをもてるまちを目指し、各種事業に取り組む。

【主な重点事業・新規事業】

- 福島駅東西周辺のみちづくりの推進
- 福島駅東口再開発工事期間中における駅前通り周辺のにぎわい確保
- ふくしま将来ビジョンとアクションプランの見直し
- ふくしまDCと大型観光イベントへの支援及び関係人口増加への取り組み
- 東北中央道霊山ICから福島市内を通り、国道115号に至る新たなルート整備の促進
- 移住・定住・二地域居住推進に向けた取り組み
- 2025年大阪・関西万博への福島わらじまつりの参加及び視察の実施

II 会員事業所の発展 ～企業の安定・成長～

社会・価値観の変化やデジタル技術の革新、経営を取り巻く経済環境の悪化などに対し、会員事業所が時代の流れと社会の変化を読み、より発展できるよう各種支援事業に取り組む。

【主な重点事業・新規事業】

- 事業承継や事業再構築などの経営課題に対して、生成AIを含めたデジタル技術を活用した新規事業計画の作成支援
- 個別訪問等による伴走支援事業の充実
- 価格高騰など様々な経営課題に対する専門家と連携した経営相談事業の実施
- 人材不足に対応する人材確保並びに雇用対策事業の実施
- デジタル化に取り組む会員事業所への支援
- 販路拡大への支援(商談会への参加、合同プレスリリース会の開催など)
- SDGsの推進や脱炭素経営の取り組みへの支援
- 新規創業に関する相談支援
- 健康経営による組織活性化への取り組み

III 魅力ある商工会議所 ～商工会議所の活性化～

あらゆる情報が自分で取得できる時代であっても、人と人との出会いを大切にし、支持され続ける組織であるための事業を実施していく。

【主な重点事業・新規事業】

- デジタル社会実現に向けた取り組みの推進
- 会員満足度向上への取り組みの推進
- 組織率40%に向けた会員増強活動の取り組み
- 共済制度及び団体補償制度等の独自サービス普及による会員のリスク管理の推進
- 創立110周年に向けた内容検討
- 輪島・能登への支援事業の実施
- 職員資質向上に向けた視察事業の実施

※赤字：新規事業



未来を創る」

I-A. ふくしま将来ビジョンの推進・見直し

I-B. 政策提言・要望活動の推進

I-C. 中心市街地の活性化

I-D. 広域連携の推進

I-E. 観光振興および関係人口拡大に向けた取組みの推進

I-F. 地域のまつり・伝統文化の興隆

I-G. 地域飲食店の繁盛支援

II-A. 中小企業経営への伴走支援の強化

II-B. 相談支援体制の充実・強化

II-C. 経営革新の推進

II-D. デジタル化対応

II-E. 販路拡大の推進

II-F. 事業承継・事業再生・事業再構築の支援

II-G. 環境・エネルギー政策の推進

II-H. 創業の推進

II-I. 人材育成事業の推進

II-J. 雇用対策事業の推進

II-K. 各種調査・情報提供

II-L. 業種別振興事業の推進

II-M. 福利厚生 の 充実

III-A. 商工会議所の運営強化

III-B. 商工会議所の情報発信力(見える化)の強化

III-C. 運営基盤の強化

III-D. 事務局機能の強化

足腰の強い 「健都ふくしま」 を目指して



研都：産学官連携支援

堅都：災害に強い都市づくり

軒都：にぎやかなまちづくり整備

見都：観光振興強化

牽都：県都及び県北の母都市としての役割の発揮

圏都：広域連携拠点の整備

福島市の課題

1. 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化
2. 福島市の都市形成及び居住環境整備
3. 中小企業支援策の充実
4. 観光振興及び交流人口拡大対策の推進

ふくしま将来ビジョン

～足腰の強い「健都ふくしま」を目指して～ より

3. 推進体制



会 頭 **渡邊 博美**
福島ヤクルト販売(株) 代表取締役会長



副会頭 **菅野日出喜**
菅野建設(株) 代表取締役

担 当 部 会 ◆食品商業部会、生活関連商業部会、建設業部会

担当委員会 ◇総務委員会



副会頭 **坪井 大雄**
福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長

担 当 部 会 ◆工業部会、観光・飲食部会

担当委員会 ◇未来創生委員会、観光交流委員会



副会頭 **大槻 博太**
大槻電設工業(株) 代表取締役

担 当 部 会 ◆不動産部会、健康・社会サービス部会

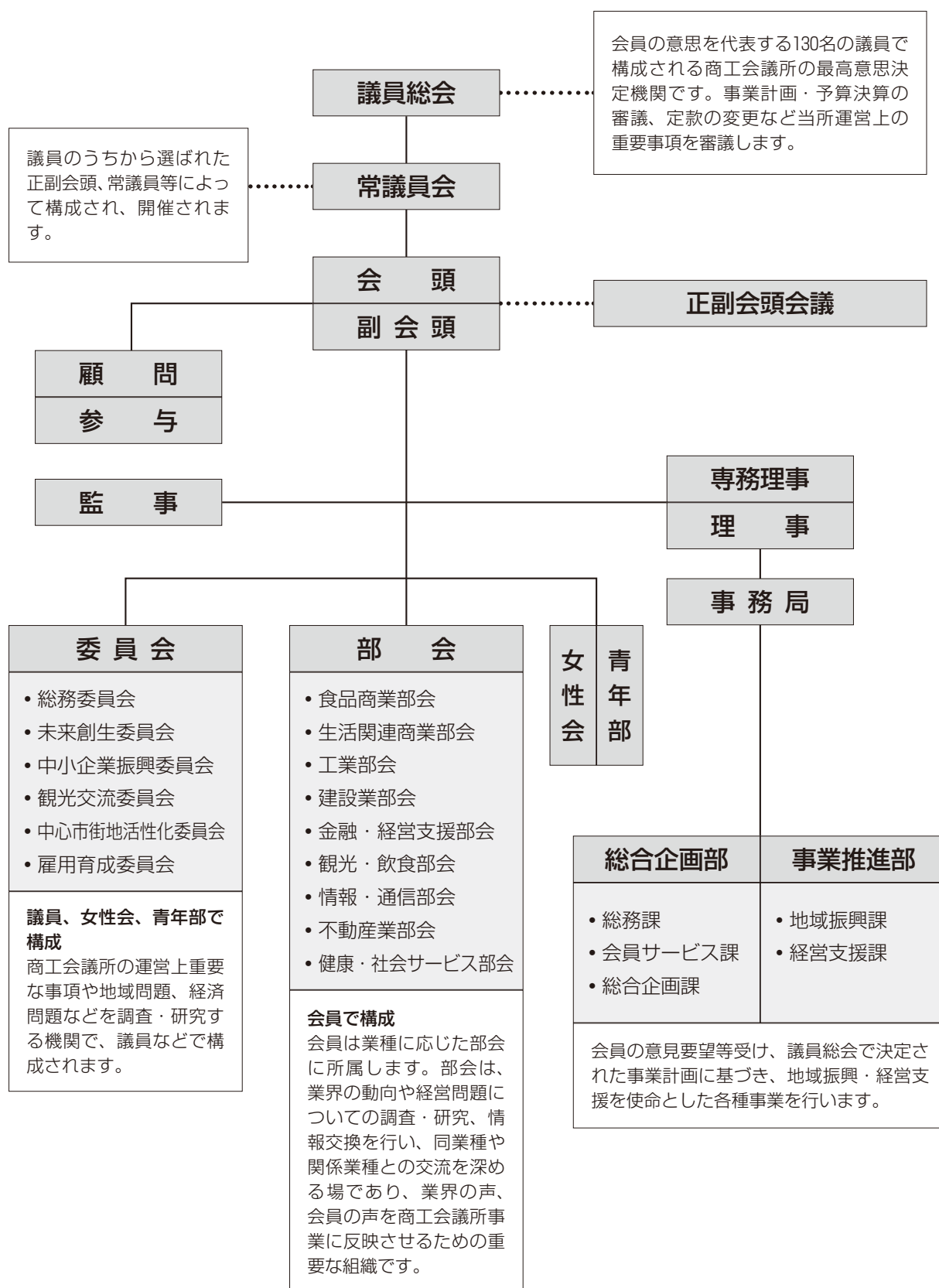
担当委員会 ◇中小企業振興委員会、中心市街地活性化委員会



副会頭 **須藤 英穂**
(株)東邦銀行 顧問

担 当 部 会 ◆金融・経営支援部会、情報・通信部会

担当委員会 ◇雇用育成委員会



第2部 施策体系と各種事業

施策Ⅰ 活力ある福島の創造～地域経済の活性化～

Ⅰ－A ふくしま将来ビジョンの推進・見直し	
重点	1 福島駅周辺東西まちづくりを踏まえたアクションプランの見直し
	(1) 福島商工会議所創立110周年に向けたアクションプラン等の再構築
重点	2 福島市第7次総合計画を基本とする地方創生（まち・ひと・しごと）の実現に向けた事業の検討
Ⅰ－B 政策提言・要望活動の推進	
重点	1 商工会議所ネットワークの活用・強化による提言能力・実現力の向上
	(1) 部会・委員会による地域課題の調査・研究
	(2) 日本商工会議所、東北六県商工会議所連合会、福島県商工会議所連合会との連携
	(3) 各種経済団体・業界団体・大学等との政策課題の調査・研究
重点	2 政策提言・要望活動の実施
	(1) 「第2期復興・創成期間」以降の財源と制度の確保に向けた要望
重点	(2) 中小企業支援対策等に関する要望
	(3) 福島市中小企業振興条例に基づいた地元発注に関する要望
重点	(4) 福島駅周辺を核とする中心市街地活性化に関する要望
	(5) 福島市の都市形成およびまちづくりの推進に関する要望
重点	(6) 幹線道路の整備促進および建設促進に関する要望
	(7) 観光振興および交流人口拡大に関する意見・要望活動の実施
重点	(8) 原子力災害に関する要望
Ⅰ－C 中心市街地の活性化	
重点	1 福島駅東西周辺のまちづくりの推進
	(1) 福島駅東口地区再開発事業への支援・協力
重点	(2) イトーヨーカ堂福島店閉店後の跡地活用に関する検討・提言
重点	2 中心市街地活性化の推進
	(1) 福島市中心市街地活性化協議会の運営と第3期基本計画の推進
新規	①福島駅前通りホコ天事業、各種団体が駅前周辺で開催するイベントへの支援
	②街なか賑わい創出プロジェクトとの連携によるイベント情報の共有・発信
重点	③イベント開催時のまちなか個店への効果的誘導策に関する消費者意識の調査・研究
	④駅前にぎわい広場を活用したイベントの実施
重点	⑤再開発ビル利用者を周辺商店街等へ回遊させる仕組みの検討
	⑥商店街、青年部、女性会等関係団体が実施するにぎわいイベント等への支援

	⑦福島駅東西エリア一体化推進協議会による駅周辺まちづくり推進体制の整備
	(2) 若者のまちづくりへの参画推進
	①若者視点による魅力あるまちの創造と学生が滞留するための施策の検討
	②若者のイベント企画への相談窓口の開設及びイベント費用の開催支援
	(3) (株)福島まちづくりセンターとの連携
	3 世代を超えて集える賑わいの創出
	(1) 福島駅前元気プロジェクト（春・夏・秋・冬）によるにぎわい創出イベントの展開
	(2) 花ももの木プランター設置等を中心とする花のまちフェスティバル事業の継続実施
	(3) 商店街等の各種行事・イベントへの支援・協力
	(4) 関係団体との情報・意見交換
	4 快適で魅力ある都心居住の推進
	(1) 県立医大保健科学部学生・教員への住宅情報等の提供
	(2) 市内大学生・教員への住宅情報等の提供に関する調査・研究
	5 防災・減災に強い都市づくりに関する研究
	6 まちなか賑わい情報の発信
	(1) DC等に向けたまちなか周遊サイトの制作
新規	(2) まちなかイベントの相互PRの推進
Ⅰ－D 広域連携の推進	
	1 県境を越えた広域連携の推進
	(1) 東北中央自動車道を活用した広域連携の推進（福島・相馬・米沢・山形）
	①相馬・米沢等との相互誘客策の推進
	②東北中央道沿線「道の駅」等と連携した本市観光PR事業の実施（福・相・米「観光ドライブMAP」改正版の発行）
	③相馬・米沢商工会議所及び会員企業等との交流推進
	(2) 連携中枢都市圏構想による中小企業振興の推進
重点	2 福島西道路の南進・北進、霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号線ルートの整備促進
Ⅰ－E 観光振興および関係人口拡大に向けた取組みの推進	
重点	1 定住・移住・二地域居住推進のための体験型プログラム等の調査・研究
重点	2 観光資源を利活用する誘客事業の実施・協力
重点	3 観光DXに取り組む事業者への支援
重点	4 福島市へのMICE誘致およびロケ誘致活動の推進



	(1) MICE誘致活動の推進に関する関係機関との連携、およびMICE先進地や観光関連イベント等の視察会の開催
	(2) 福島市ロケツーリズム推進会議への支援協力（ロケ場所・素材、飲食店の情報提供等）
5	古閑裕而氏やまつりを活用したまちづくり・誘客事業の推進
	(1) 愛知県豊橋市へのわらじまつり遠征交流事業の実施
	(2) 福島市が行う「古閑裕而のまち・ふくしまシンフォニー」への支援・協力
	(3) まつり（第56回福島わらじまつり・2025大阪・関西万博（6/14～6/15））を活用した地域活性化の推進
6	「花のまちふくしま」による誘客事業の実施
	(1) 春の観光客へ向けのおもてなし事業（「ふくしま花のまちフェスティバル」）の実施
7	観光振興のための連携の推進
	(1) 福島市観光コンベンション協会〔地域DMO〕等の観光関係機関等との連携強化
	(2) ふくしま地域ポータルサイト「ももりんく」の運営支援
8	スポーツを活かしたまちづくりへの支援・協力
	(1) 「大相撲大波三兄弟福島後援会」への支援
	(2) 福島ユナイテッドFCへの支援
9	国際交流およびインバウンド推進
	(1) インバウンドの誘致推進および台湾等へのアウトバウンド推進
	(2) ふくしま台湾友好協会の交流の促進

重点新規	10	ふくしまDCに合わせた誘客事業の推進
-------------	-----------	---------------------------

I－F	地域のまつり・伝統文化の興隆
1	第56回福島わらじまつりの開催 〔8月1日(金)・2日(土)・3日(日)〕
2	2025年大阪・関西万博への福島わらじまつりの参加 6月14日(土)、15日(日)
3	第47回ふくしま花火大会への協力
4	ふくしま山車祭りへの協力
5	信夫三山暁まいりに対する協力

I－G	地域飲食店の繁盛支援
------------	-------------------

重点	1	飲食店の消費拡大の推進
	(1)	人出不足解消や生産性向上、販路開拓に関するDXのセミナー開催
	(2)	労務費やエネルギー価格高騰に関連した制度・補助金等の情報提供
	(3)	福島社交飲食業組合、福島飲食業組合等との連携強化
	(4)	春・秋のランチで食うボン事業の実施

2	カーボンニュートラル社会の実現に向けた情報の提供
	(1) 補助金等に関する情報の提供と申請支援

第2部 施策体系と各種事業

施策Ⅱ 会員事業所の発展～企業の安定・成長～①

Ⅱ－A 中小企業への伴走支援の強化

重点 新規	1	事業承継や事業再構築などの経営課題に対して、生成AIを含めたデジタル技術を活用した新規事業計画の作成支援
	2	第2期経営発達支援計画に基づく伴走型支援事業の策定ならびに実施内容の検証
重点	3	さまざまな経済環境に対応した経営相談の充実および周知強化
		(1) 個別訪問等による伴走支援事業の充実
		(2) 資材高騰など経済状況変化に対する価格転嫁の適正化等に向けた個別相談会等の実施
		(3) 支援事例集作成による経営支援活動の周知強化

Ⅱ－B 相談支援体制の充実・強化

1	金融に関すること
	(1) 小規模事業者経営改善資金融資制度（マルケイ融資）の利用促進
	(2) 小規模事業者経営発達支援融資事業の利用促進
	(3) 各種制度資金（国・県・市等）の利用促進
	(4) 金融相談会の開催
2	税務申告業務の充実
	(1) インボイス制度や電子の対応帳簿、DXへの対応などの経営課題に対する経営支援強化
	(2) 税務事務自立化への支援強化（セミナー、個別相談会の開催）
	(3) 記帳の電子化・クラウド化に関する支援（ブルーリターンA等）
	(4) 所得税・消費税申告に関する支援
3	労務に関すること
	(1) 賃金引上、就業規則の策定、従業員の勤怠管理等に関する相談
	(2) 事業主並びに従業員に対する退職金制度等の情報提供及び加入促進
4	専門家による指導体制の充実
	(1) 専門的な課題に対応するための専門家による個別相談の実施
	(2) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
	(3) 嘱託専門職員（専門指導センター）の活用
	(4) 専門家（中小企業診断士等）の個別企業への派遣指導
	(5) 弁護士、社会保険労務士等による個別相談の実施
	(6) 国際ビジネスアドバイザーによる貿易相談の実施
5	事業継続計画（BCP）・危機管理対応の推進
	(1) 自然災害や新たな感染症などの緊急事態に備えたBCPの策定支援

(2) 事業継続力強化支援計画の推進

(3) 経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）の普及促進

(4) BCPと連動した提携損害保険の推進

Ⅱ－C 経営革新の推進

1	経営革新等支援機関としての経営革新支援の充実・強化
	(1) 経営革新計画策定および認定に関する支援
	(2) 経営革新に関する個別相談会の開催

Ⅱ－D デジタル化対応

重点	1	経営のデジタル化に取り組む会員事業所への支援
		(1) 会員事業所のデジタル化進捗状況を踏まえたICT活用、DXへの対応支援
		(2) デジタル技術の活用事例などを紹介するセミナー・講習会の開催
		(3) 専門家によるデジタル化相談支援

Ⅱ－E 販路拡大の推進

重点	1	小規模事業者の販路拡大支援 (補助金活用による経営安定化の推進)
	(1)	地場産品・地域資源を利用した「売れる商品づくり支援事業」の実施
	(2)	小規模事業者持続化補助金を活用した販路拡大計画の作成・実施支援
	(3)	福島県小規模いきいき支援事業を活用した販路拡大計画の作成・実施支援
	2	医療福祉分野、再生可能エネルギー分野、ロボット産業分野への参入支援
	3	医産連携推進事業の充実
	(1)	ふくしま医療関連ビジネス研究会の推進
	(2)	県立医大と中小企業のマッチングおよび医療機器メーカーと中小企業のマッチング支援
重点	4	海外への販路開拓への支援
	(1)	国際化担当窓口の設置による海外展開に対する関係機関と連携した伴走型支援の実施（情報提供や販路開拓等の支援）
	(2)	外国人雇用に関する現状の把握及び先進的な取組事例の研究
	5	大学、企業、研究機関、行政等との産学官連携の推進
	(1)	福島市中小企業振興基本条例に関する支援・協力
	(2)	福島イノベーション・コースト等県内の研究開発、産業集積拠点に関する情報の提供
	(3)	オールふくしま中小企業・小規模事業者経営支援連絡協議会に対する支援・協力
	(4)	大学をはじめ企業や研究機関、行政等との産学官との連携
	6	ビジネスチャンスの提供・支援



重点	(1) 販路拡大のための合同プレスリリース会の開催
	(2) 外部主催展示会等への出展に関する支援
	(3) 会員交流会・商談会、新入会員交流会の開催
	(4) 所報のチラシ折込サービス・広告掲載による取引拡大支援
	(5) ICTの利活用の推進（ザ・ビジネスモールの登録推進等）
	(6) 商取引の照会・斡旋

7 会員事業所応援事業「福エール賞」の実施

Ⅱ－F 事業承継・事業再生・事業再構築の支援

重点	1 後継者対策、事業承継に関する支援の充実
	(1) 事業承継に関する伴走支援の実施
	(2) 福島県事業引継ぎ支援センターおよび金融機関等関係機関との連携強化による事業承継に関する支援強化
	2 事業再生に関すること
	(1) 経営安定特別相談事業による倒産防止相談の実施
	(2) 事業転換に関する支援
	3 事業再構築に関すること（再掲）

Ⅱ－G 環境・エネルギー政策の推進

重点	(1) SDGsの推進や脱炭素経営の取り組みへの支援
	(2) 「ふくしまカーボンニュートラル実現会議」への協力

Ⅱ－H 創業の推進

重点	1 創業スクールの実施
	2 創業に関する個別相談の充実
	(1) ビジネスプラン作成の支援
	(2) 開業資金の調達に関する支援

Ⅱ－I 人材育成事業の推進

1 人材育成・経営課題に関するセミナーの実施
(1) インターネットを活用した「経営に役に立つ！WEBセミナー」の配信
(2) 経営課題別セミナーの開催
(3) 組織階層別セミナーの開催（新入社員、中堅社員、営業社員等）
①早期離職率改善のための研修会等の実施（若手社員フォローアップ研修等）
(4) 製造企業の技術力向上に関するセミナーの開催（県北技塾）

(5) 生産性向上支援訓練の開催

①パソコン教室の運営

2 各種検定試験による商工技能の向上

(1) 各種検定試験の実施

①日商簿記検定試験

②リテールマーケティング検定試験

③日商珠算検定試験

④PC検定試験

⑤福祉住環境コーディネーター検定試験

⑥ビジネス実務法務検定試験

⑦環境社会検定試験

⑧ビジネスマネージャー検定試験

⑨カラーコーディネーター検定試験

(2) 検定試験受験に関する企業・大学等へのPR

第2部 施策体系と各種事業

施策Ⅱ 会員事業所の発展～企業の安定・成長～②

Ⅱ－J 雇用対策事業の推進

重点	1 若年層の地元定着支援
	(1) 高等学校との連携強化
	(2) 学生向けインターンシップの推進
重点	2 多様な人材の活躍推進
	(1) 女性・シニア・障がい者・外国人などの雇用促進
	(2) 職場環境改善等の推進
	3 人材育成に関する支援
	(1) 意見交換やセミナー等を通じた専門家等とのノウハウの共有及び会員企業への情報提供
	4 働き方改革・健康経営の推進
	(1) 健康経営の促進
	(2) 労働関連制度改正の周知

Ⅱ－K 各種調査・情報提供

	1 カーボンニュートラル実現に向けた情報提供＝再掲＝
	(1) 各種制度、補助金等に関する情報提供
	2 地域経済に関する各種調査の実施
	(1) LOBO（早期景況調査）調査
	(2) 中小企業景況調査
	(3) 経営状況等に関する調査
	3 登録・申請・検査業務の実施
	(1) 容器包装リサイクル業務の実施
	(2) 原産地証明書の発行

Ⅱ－L 業種別振興事業の推進

	1 食品商業に関すること（食品商業部会）
重点	(1) 経営力強化に関すること（販売促進、経営安定に向けた支援等）
	(2) 商環境の変化への対応に関すること（地域開発に関する情報提供、商談会等へ視察）
	2 生活関連商業に関すること（生活関連商業部会）
重点	(1) 小売・卸・物流に関すること（物流DX・脱炭素経営・カーボンニュートラル等）
重点	(2) 中小企業の経営力強化に関すること（多様な人材活躍推進、健康経営、BCP策定、事業承継、事業再構築等のセミナー実施）
	(3) 地域活性化事業に関する情報提供（福島駅東西周辺の再開発事業他）

3 工業に関すること（工業部会）

重点	(1) 部会員の技術力・生産性の向上ならびに経営力強化等
	①出前工場見学会の開催
	②DXの推進
	③県内外製造業との交流等の推進
	④人材育成事業の実施
重点	(2) SDGsの取組みおよび啓発活動
	(3) 産学官連携の活用・推進

4 建設業に関すること（建設業部会）

重点	(1) 建設業の基盤強化に関すること（課題解決、経営安定化に向けた取組み）
	(2) 建設業界に関する要望の実施および情報提供

5 金融・経営支援に関すること（金融・経営支援部会）

重点	(1) 地域経済動向・金融情勢に関する調査・研究および情報提供
重点	(2) 地域活性化に関する調査・研究および情報提供
重点	(3) 中小企業支援のための各関係機関との連携強化
	(4) 中小企業の経営安定に資するセミナー、個別相談会等の開催

6 観光・飲食業に関すること（観光・飲食業部会）

重点	(1) ふくしまデスティネーションキャンペーンへ向けての対応
重点	(2) 地域飲食店の活性化に向けた事業の実施

7 情報・通信業に関すること（情報・通信部会）

重点	(1) 会員事業所の経営のデジタル化・DX推進への支援
重点	(2) 会員事業所の販路拡大に関する情報発信力向上への支援・協力（合同プレスリリース会の開催等＝再掲＝）
	(3) 先進事例視察会の実施
	(4) 部会員スピーチによる自社紹介を通じた相互理解の促進

8 不動産業に関すること（不動産部会）

重点	(1) 快適で魅力あるまちづくりの推進
重点	(2) 移住・定住関係人口増加等の推進
	(3) まちづくり等に関する情報提供



9	健康・社会サービス業に関すること（健康・社会サービス部会）
重点	(1) 健康経営の推進
重点	(2) 人材確保及び生産性向上への支援（人手不足解消、売上アップ、デジタル化など）
重点	(3) 部会員の経営課題の把握と解決に向けた情報収集及び支援（部会員の経営課題等調査など）
	(4) 会員事業所への情報提供（補助金など）

Ⅱ－M 福利厚生の充実

1	会員事業所の福利厚生と事業リスク対策の充実
重点	(1) 生命共済制度〔エール共済〕・個人保険の普及・拡大
	①共済キャンペーン強化による共済加入者数の維持
	②巡回地区共済未加入会員への加入打診
	(2) 提携損害保険の推進
	①損保会社との連携による損害保険の加入拡大
	(3) 特定退職金共済制度の普及・拡大
	(4) 小規模企業共済制度の普及・拡大
	(5) 共済加入者還元事業の充実
2	健康経営の推進
	(1) 健康経営セミナーの開催および働き方改革に関する情報提供
	(2) 「健康経営優良法人認定制度」の普及・拡大および事業所による実践内容の紹介等
	(3) 従業員のメンタルヘルス対策、身体のケアに関する必要性および対応方法の情報提供
	(4) 生活習慣病健診による会員事業所経営者・従業員の健康推進
	(5) 人間ドックの充実

第2部 施策体系と各種事業

施策Ⅲ 魅力ある商工会議所～商工会議所の活性化～

Ⅲ－A 商工会議所の運営強化

重点

1 デジタル社会実現に向けた取組みの推進

- (1) デジタル化推進セミナーの開催
- (2) 各部会・委員会との連携

重点

2 会員満足度向上への取組みの推進

- (1) 情報発信機能の強化
- (2) 会員サービス事業の充実

重点

3 運営強化のための会議等の充実

- (1) 常議員会・議員懇話会の充実
- (2) 正副会頭と部会長・委員長会議の開催
- (3) 正副会頭と女性会・青年部との意見交換会の開催
- (4) 福島市・福島市議会との意見交換会の開催
- (5) 他地区商工会議所の視察および懇談会の開催
- (6) 議員ゴルフ等の議員親睦事業の開催
- (7) 福島市新年市民交歓会の開催

重点

4 商工会議所組織の活性化

- (1) 部会・委員会の活性化
- (2) 先進商工会議所の視察
- (3) 先進事例視察会(2025年大阪・関西万博)の開催

重点

5 会員サービス事業の向上

- (1) 会員交流事業の充実(会員交流会、新入会員交流会の実施)＝再掲＝
- (2) 共済加入者還元事業の実施
- (3) オンライン研修(経営に役に立つ! WEBセミナー)の配信と広報活動の展開
- (4) オリジナルカレンダーの作成・配布

6 女性会・青年部の運営支援と連携強化

- (1) 福島商工会議所女性会の運営
- (2) 福島県商工会議所女性会連合会の運営
- (3) 福島商工会議所青年部の運営

7 福島県商工会議所連合会の運営

- (1) 各種会議の開催(会頭会議、総会、政策委員会、幹事会、事務局長会議、中小企業相談所長会議等)
- (2) 福島県等への要望の実施
- (3) 風評被害・風化対策事業の実施
- (4) 県内商工会議所職員研修の実施

8 外郭団体との連携

- (1) 福島市商店街連合会
- (2) 福島市商店街連合会青年部
- (3) 福島青色申告会連合会
- (4) 福島市青色申告会
- (5) 福島県珠算連盟
- (6) 福島珠算連盟
- (7) 福島わらじまつり実行委員会
福島夏まつり委員会
- (8) 福島エネルギー懇談会
- (9) 東北経済連合会福島地域懇談会
- (10) 福島県警察官友の会連合会
- (11) 福島地区警察官友の会
- (12) 福島県防衛協会
- (13) 福島市自衛隊協力会
- (14) 福島リサイクル推進協議会
- (15) ふくしま台湾友好協会
- (16) 福島県商工3団体暴力団等排除対策協議会
- (17) 福島市にサッカースタジアムをつくる会
- (18) 福島駅東西エリア一体化推進協議会

重点
新規

9 創立110周年に向けた内容検討

10 関係機関・団体との連携

重点
新規

- (1) 輪島・能登への支援事業の実施



Ⅲ－Ｂ 商工会議所の情報発信力（見える化）の強化

1	ICTによる情報発信と会議所活動の理解促進
(1)	ホームページによる情報発信（会員・未加入事業所）
(2)	SNSによる情報配信
	①LINEによるプッシュ型情報配信の強化（会員向け）
	②LINE登録者の増加
2	所報ふくしま等による情報提供と会議所活動の理解促進
(1)	会員事業所の経営に資する情報提供
(2)	会員事業所の掘り起こしと取組み紹介
3	未加入事業所と市民への情報発信の強化
(1)	マスメディアとの交流と情報発信
(2)	学生・若者へのインスタグラムによる情報発信
(3)	未加入事業所への「商工会議所活用ガイド」ダイジェスト版による周知
4	資料提供の充実
5	支援事例集の作成による情報発信＝再掲＝

Ⅲ－Ｃ 運営基盤の強化

重点	1 組織の充実および財政基盤の充実・安定化
(1)	組織率40%達成に向けた会員増強運動の実施
	①巡回地区会員未加入事業所への加入打診
	②新設法人等に対する加入促進
(2)	共済制度加入者の維持拡大
	①共済キャンペーン強化による共済加入者数の維持
	②巡回地区共済未加入会員への加入打診
(3)	提携損害保険の推進＝再掲＝
	①損保各社との連携による損害保険の加入拡大

Ⅲ－Ｄ 事務局機能の強化

1	職場におけるメンタルヘルス・ハラスメント対策の徹底
2	環境変化に対応した支援組織としての組織のあり方の検討
重点	3 職員の経営支援能力等の向上
(1)	経営指導員、経営指導補助員研修会など職層に応じた各種研修への参加
新規	(2) 2025年大阪・関西万博への視察
4	働き方改革の推進
重点	5 デジタル化による各種業務の見直しおよび改善の徹底
	①経理システムの改善
	②勤怠管理・給与計算システムの改善
	③FAXから電子メールへの切替え
	④デジタル化推進に対応した就業規則、機器類等の整備等
	⑤共済事務の効率化
6	法令順守体制の強化

第3部 部会・委員会事業

1. 部会事業

部会とは

- 「部会」は業種ごとの会員で構成される商工会議所の基盤組織であり、部会毎に会員及びその業種・業界の発展のための活動を行います。
- 部会長、副部会長、常任委員の任期は、福島商工会議所 議員任期と同じ期間となります。

福島商工会議所 第31期議員の任期

2022（令和4）年11月1日～2025（令和7）年10月31日

※正副部会長：令和7年3月1日現在

※重点事項

1. 食品商業部会

1. 経営力強化に関すること

- ※(1) 会員事業所の販売促進に関する支援
 - 国内外に向けた販路開拓・新商品開発に向けたセミナーの開催及び特別相談窓口活用の支援
 - 展示商談会への出展支援並びに情報提供
- ※(2) 経営安定に向けた支援
 - 適正な価格転嫁に関するセミナーの開催及び情報提供
 - 雇用確保に向けたセミナーの開催及び情報提供
 - 省力化や生産性向上を図るデジタル化に向けたセミナーの開催
 - 食品業界を取り巻くトレンドに関するセミナーの開催及び情報提供
 - ・健康志向の高まり
 - ・食品ロスの削減
 - ・環境負荷の低減 等

部会長	(株)川瀬酒販	
	代表取締役	川瀬 成人
副部会長	(株)サン・ベンディング福島	
	代表取締役	千葉 政行
副部会長	渋谷レックス(株)	
	取締役会長	渋谷 順子
副部会長	(有)吾妻屋	
	代表取締役社長	吾妻 イネ
副部会長	福島水産(株)	
	代表取締役社長	遠藤 淳弘
副部会長	福島中央青果卸売(株)	
	代表取締役社長	池田 進二

2. 商環境の変化への対応に関すること

- (1) 地域開発等に関する各種情報の提供
 - 福島駅東西周辺地区の再開発事業等に関すること
 - 「イオンモール伊達」に関すること
 - その他、県北地域の商環境の変化に関すること
- (2) 先進的な展示商談会・商業施設等への視察会の実施

～当所の他委員会・部会、行政、団体等と関連する事業については連携し事業を進める～



2. 生活関連商業部会

※ 1. 小売・卸・物流に関すること

- (1) 物流DXの推進に関する先進的な取組企業等への視察会の実施及び、セミナーの開催
- (2) 脱炭素経営やカーボンニュートラルの取組みに関する支援
- (3) 部会員スピーチによる各業界間の情報交換

※ 2. 中小企業の経営力強化に関すること

- (1) 労働力人口の減少により今後更に課題となる、多様な人材の活躍推進並びに、雇用確保に関するセミナーの開催及び、情報提供
- (2) 競争力向上のためのIT分野のDX推進等に係るセミナーの開催及び、情報提供
- (3) 健康経営に関するセミナーの開催及び、健康経営アドバイザーによる個社支援
- (4) 事業承継・事業再構築並びに、事業継続計画（BCP）の策定に関するセミナーの開催・情報提供
- (5) 個店の魅力向上のための、補助金や制度改正に関する個別相談会及び、セミナー等の開催による各種支援

3. 地域活性化に関すること

- (1) 福島駅東西周辺地区の再開発事業等に関する情報提供
- (2) 福島・相馬・米沢3地域の連携による関係人口創出拡大等に関する情報提供

※各事業を実施する際は、県・市等の担当部局、他委員会・部会等と連携を図りながら取り組んでいくものとする。

部会長	(株)マクサムコミュニケーションズ 代表取締役社長 右近 八郎
副部会長	(株)いちい 代表取締役社長 伊藤 信弘
副部会長	(株)クラシマ 代表取締役社長 倉島 卓史
副部会長	(株)後藤歯科商店 代表取締役会長 後藤 忠久
副部会長	(株)ダイユーエイト 取締役管理部長 馬場 智和
副部会長	ネットトヨタ福島(株) 取締役会長 大沼 健次
副部会長	福島市商店街連合会 会長 小河日出男
副部会長	福島トヨタ自動車(株) 代表取締役社長 蔵敷 大浩

(※印重点事業)

3. 工業部会

【活動指針】

当部会は、激しく変化する事業環境に対応していくため、SDGsの理念の下に、部会員の技術力・生産性の向上、地域社会におけるものづくり企業の発展に向けた取り組みを進める。

具体的には、GX（グリーントランスフォーメーション）やDXの推進など、製造業を取り巻く事業環境の変化に対し各種情報の提供や視察会、先進事例の紹介を行うほか、先進的な取組を行っている部会員事業所の事例紹介（会員スピーチ、製品紹介等）を行う。

また、部会員同士の積極的な情報交換も実施することで、部会一体となって気象変動や廃プラスチック問題等の社会的課題の解決を目指すほか、人材育成事業を実施し従業員の資質向上を目指す。

部会長	加藤鉄工(株)
代表取締役会長	加藤 利夫
副部会長	協三工業(株)
代表取締役社長	加藤 守
副部会長	サンヨー缶詰(株)
代表取締役社長	三枝 通晃
副部会長	(株)日進堂印刷所
代表取締役社長	佐久間信幸
副部会長	日東紡績(株)福島事業センター
センター長	寒竹 大輔
副部会長	福島製鋼(株)
代表取締役社長	登坂 明弘
副部会長	(株)福島製作所
代表取締役社長	太田 光一
副部会長	(株)山川印刷所
専務取締役	山川 彬

事業計画項目	SDGsの取組
1. 工業部会員の技術力・生産性の向上並びに経営力強化等 ※(1) 工業部会員（市内製造業）及び地域社会における工業の振興 (i) 出前工場見学会の開催による地域内連携の強化 当所工業部会員の出前工場見学会（会員スピーチ、製品紹介等）を継続開催し、その現状と課題等を知り、福島市のものづくり企業の経営に生かしていくとともに地域内連携の推進を図る。 (ii) 福エール賞等への部会員の推薦 優れた技術がある、先進的な取組を行っている部会員を各種顕彰へ推薦を行い、ものづくり企業の振興を図る。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう  産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリーシップで目標を達成しよう  パートナリーシップで目標を達成しよう
※(2) DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 事業環境の激しい変化や競争力・生産性の向上に対応するため、業務そのものや、組織、プロセスなど、省力化やDXに関する情報提供を行うとともに、先進的な企業の工場見学等についても検討、実施していく。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう  産業と技術革新の基盤をつくろう



事業計画項目	SDGsの取組
※(3) 県内外製造業への視察・交流等の推進 (i) 県内外製造業等への視察 製造業等の展示会や県内外の企業視察を積極的に行い、先進的なものづくりに関する技術を体感し、部会員の技術革新やビジネスチャンスにつなげていく。 (ii) 県内外商工会議所工業部会との交流の推進 県内外商工会議所工業部会との交流を通して、部会員が抱える課題を解決するための取り組みや先進的な事業の把握、販路拡大機会の創出等につなげていく。	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナーシップで目標を達成しよう パートナーシップで目標を達成しよう
※(4) 人材育成事業の実施 (i) 県北技塾の開催 福島商工会議所の主催により、管内製造企業の底上げを図ることを目的として「県北技塾」を開催する。また、「県北技塾」の充実を図るための調査、研究を行う。	4 質の高い教育をみんなに 質の高い教育をみんなに
2. SDGsの取組及び啓発活動 ※(1) 工業部会におけるSDGsの取組 部会員の事業所や生産現場において、SDGsやカーボンニュートラルに取り組むための情報提供を行うとともに、部会員の事業所が行っている取り組みの共有や先進的な企業の視察会の開催にも取り組む。 また、部会の開催案内や出席通知等に関して、デジタル化によるペーパーレス化の実現を目指し検討を進めるほか、当所で資料の郵送や会議資料用に使用している封筒など、環境に配慮した素材への置き換えの調査・研究を行う。	12 つくる責任 つかう責任 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 気候変動に具体的な対策を

事業計画項目	SDGsの取組
3. 産学官連携の活用・推進 (1) 足腰の強いふくしまの実現に向けた産学官連携の推進 • 国、県、市等におけるカーボンニュートラルに対する取組や産学官連携、新産業の創出、産業集積や輸出等の製造業支援施策について、各種情報の収集及び提供を行う。 • 福島国際研究教育機構（F-REI）や福島イノベーション・コースト構想など、新産業の育成や産業集積などに関する研究機関や大学等を継続して視察することにより、研究機関等との連携の可能性を模索する。 • ふくしま医療関連ビジネス研究会との連携をはじめ、様々な分野への新規参入の可能性を探る。	8 働きがいも経済成長も  働きがいも経済成長も 17 パートナリープで目標を達成しよう  パートナーシップで目標を達成しよう

※事業の実施に当たっては、他委員会や部会等との連携を図りながら、先進地視察等の事業も取り組んでいくものとする。



4. 建設業部会

※ 1. 建設業の基盤強化に関すること

- (1) 建設業の課題解決に向けた支援
 - 2025年問題が建設業に与える影響とその対策方法に向けたセミナーの開催並びに情報提供
- 〈対策方法〉
 - ・若手人材の確保・定着に繋がる働きやすい職場づくりに関すること
 - ・高齢者、女性、外国人など多様な人材の活用推進に関すること
 - ・業務効率化の推進、生産性向上に向けたICTの活用に関すること
- (2) 経営安定化に向けた支援
 - 適正な価格転嫁に関する調査の実施や制度・補助金等の情報提供
 - 環境問題への対応に関する情報提供
- (3) 福島市の都市形成に関する情報の提供
 - 福島駅東西周辺地区の再開発事業等に関する情報の提供
 - 福島駅東西エリア一体化に関する情報の提供

2. 建設業界に関連する要望の実施

- (1) 福島西道路の事業促進をはじめとするインフラの整備促進等に関する要望の実施
- (2) 東北中央自動車霊山ICから福島市内を通り国道115号に至る新たなルートの整備促進に向けた要望の実施

※関連する事業においては、他の部会・委員会並びに関連団体との連携を図って実施する。

部会長	(株)日新土建	
代表取締役	桃井 三夫	
副会長	コボックス(株)	
代表取締役	小林 仁一	
副会長	(株)大丸工務店	
代表取締役	大和田知昭	
副会長	日東物産(株)	
取締役会長	大橋 廣治	
副会長	福島ネオ工業(株)	
代表取締役社長	吉川 昭	
副会長	(株)杜設計	
代表取締役	鈴木 宏幸	

5. 金融・経営支援部会

※ 1. 地域経済動向・金融情勢に関する調査・研究及び情報提供

- (1) 地域経済動向・金融情勢に関する講演会の開催
- (2) 地域課題等の把握のための意見交換会の開催
- (3) 福島県の産業育成に向けた施策等に関する情報提供・視察会の開催（再生可能エネルギー事業・水素関連産業等）

※ 2. 地域活性化に関する調査・研究及び情報提供

- (1) 福島駅東西周辺地区の再開発事業等に関する情報提供

※ 3. 中小企業支援のための各関係機関との連携強化

- (1) 事業承継に関する取り組みの支援（セミナー、個別相談会の開催等）
- (2) 「無利子・無担保」融資の返済等、資金繰りに関する支援
- (3) 創業者・新分野進出に関する取り組みの支援
- (4) 物価高騰等経営環境変化への対応に関する情報の収集と提供
- (5) 大規模自然災害等を踏まえた事業継続力強化計画（BCP）の策定支援
- (6) 中小企業者等が利用できる補助金等に関する情報提供・申請支援

4. 中小企業の経営安定に資するセミナー、個別相談会等の開催

- (1) 価格転嫁の促進、人材確保等中小企業の経営課題解決に向けたセミナーの開催
- (2) 事業継続のための経営改善に向けたセミナーの開催

～開催に際しては、他委員会や部会と連携し視察等の事業を進めていくものとする。～

部会長	福島信用金庫	
理事長	樋口 郁雄	
副会長	(株)福島銀行	
取締役社長	加藤 容啓	
副会長	福島県信用保証協会	
会長	井出 孝利	
副会長	東北税理士会福島支部	
支部長	鈴木 洋敬	

6. 観光・飲食部会

1. ふくしまデスティネーションキャンペーンへ向けての対応

- ※(1) 「春・秋のランチで食うボン事業」の実施
- 春のランチで食うボンは令和7年～9年のDC期間に合わせ、実施期間を3ヵ月とし、同時実施のスタンプラリー「ランチdeラリー」は県外からの観光客向け応募コースを新設
- ※(2) 春の観光客へ向けのおもてなし事業（花のまちフェスティバル）の実施
- 福島駅構内や駅前にぎわい広場へ花見山の切り花やハナモモの鉢植えを設置
- (3) 春のイベント「Fukushimaハルフェスinえきまゑ2025」のコンテンツ拡充
- (4) インバウンド対応力を強化するための講習会等の開催
- (5) 福島市観光コンベンション協会のほか、行政、関係機関との連携強化

部会長	(有)吉川屋
	代表取締役会長 畠 隆章
副部会長	大和自動車交通(株)
	代表取締役社長 大村 雅恵
副部会長	東日本旅客鉄道(株)福島統括センター
	福島駅長 静 徹也
副部会長	福島飲食業組合
	組合長 菅野 裕輔
副部会長	福島交通(株)
	福島支社長 久保 彰
副部会長	福島市観光開発(株)
	代表取締役社長 八島 洋一
副部会長	福島社交飲食業組合
	組合長 高橋 光子

2. 地域飲食店の活性化に向けた事業の実施

- 人手不足解消や生産性向上、販路開拓に関するDXのセミナー開催
- 労務費やエネルギー価格高騰に関連した制度・補助金等の情報提供
- 福島社交飲食業組合、福島飲食業組合等との連携強化

3. 関係人口拡大へ向けての観光振興策の推進

- ※(1) 市内で開催される大型観光イベントの周知協力やイベントへの出店等の協力
- 金曜ロードショーとジブリ展（令和7年7月19日～9月28日）
 - 大ゴッホ展（第1回展覧会 令和8年2月21日～5月10日）
- (2) 山形新幹線の新アプローチ線新設（令和9年3月）に合わせた「新幹線なすの」の福島発着に関する要望活動および記念イベント等の検討

4. 福島わらじまつりと古関裕而氏を活用した誘客事業の推進

- まつりを活用した観光客誘致活動
 - 第56回福島わらじまつり（令和7年8月1日～3日）
 - 大阪・関西万博への東北絆まつり出演（令和7年6月14日、15日）
- 古関裕而氏のレガシーを活かした各種事業への支援協力

5. 視察会の開催

- DX先進事例や市内外の観光関連施設、イベント等の視察

◆関連する項目においては会議所の委員会・部会、行政、団体等と連携し事業を進める。



7. 情報・通信部会

※ 1. 会員事業所の経営のデジタル化・DX推進への支援

- (1) AI、IoTなどの先進技術を活用した事例に関するセミナーの開催
- (2) 「デジタル化特別相談会」を通じたデジタル技術活用支援
- (3) 生産性向上につながるデジタル化・DX推進に関連する補助金等の情報提供
- (4) データのクラウド化と事業継続計画（BCP）の策定支援
- (5) 情報リテラシーの向上を含めたデジタルリスクの適切な管理・コントロールの普及啓発

※ 2. 会員事業所の販路拡大に関する情報発信力向上への支援・協力

- (1) 「合同プレスリリース会」の実施および事前セミナーの開催

3. 先進事例の視察会の実施

- (1) ICTの活用を通じて地域課題の解決や、デジタル技術の社会実装に向けた先進的な取組みを実施している自治体や企業等の視察
(例) スマートシティの実現に向けた取組み
- (2) その他先進事例の視察

4. 部会員スピーチによる自社紹介を通じた相互理解の促進

～上記事業の実施に当たっては、各部会・委員会および当所中小企業相談所事業と連携を図りながら取り組むこととする。～

部会長	東日本電信電話(株)福島支店
支店長	大橋 真孝
副部会長	朝日システム(株)
代表取締役社長	成茂 彩生
副部会長	(株)インフォメーション・ネットワーク福島
代表取締役社長	高橋 信夫
副部会長	(株)テレビユー福島
代表取締役社長	仲尾 雅至
副部会長	福島テレビ(株)
代表取締役社長	横山 淳
副部会長	(株)福島民報社
専務取締役	中尾 富安
副部会長	福島民友新聞(株)
代表取締役会長	中川 俊哉
副部会長	(株)ラジオ福島
代表取締役社長	横山 貴一

8. 不動産部会

※ 1. 快適で魅力あるまちづくりの推進

- ※(1) 空き家・空き地の有効なリノベーションに関する視察会の実施
- ※(2) 駅を中心とした賑わいのあるまちづくりに関する勉強会の実施
- (3) 防災・減災の都市づくりに関するセミナーの開催

※ 2. 移住・定住、関係人口増加等の推進

- ※(1) 移住・定住・二地域居住等の先進地に関する視察会の実施
- (2) VRや仮想空間による移住体験等新たな取組に関するセミナーの開催

3. まちづくり等に関する情報提供

- (1) 部会員スピーチを通じた相互理解の促進と情報・知見の共有
- (2) 都市居住の推進に向けた、県立医大保健科学部を始めとする学生・教員等への住宅情報の提供
- (3) 霊山ICから福島市内を通り国道115号への新ルートの整備促進に関すること
- (4) 福島西道路の北伸及び南伸エリア周辺の土地利用促進に関すること
- (5) 都市政策に関すること

◇各種事業や視察会等の実施に当たっては、各部会・委員会と連携を図りながら取り組んでいくこととする。

部会長	東栄物産(株)
代表取締役社長	安部 宏
副部会長	(株)エスケーコーポレーション
監査役	岡部 政美
副部会長	(有)菅野地所
代表取締役	加納 武志
副部会長	(株)芭蕉堂
代表取締役	斎藤 伸洋
副部会長	(株)北陽不動産鑑定事務所
代表取締役	金子 克之

9. 健康・社会サービス部会

1. 健康経営の推進

- ※(1) 「健康経営セミナー」の開催
 - ・ハラスメント対策に関するセミナー開催
- (2) 「健康経営優良法人認定制度」の普及・拡大
 - ・本制度に関する情報提供
- (3) 「21世紀における国民健康づくり運動」の普及・拡大

2. 人材確保及び生産性向上への支援

- ※(1) 人材の確保・離職防止のコツ・人手不足解消に向けた情報の収集及び支援
 - ・人材採用のコツ・人材確保に向けたセミナーの実施
 - ・人材の定着・育成に向けた働き方改革に関するセミナーの実施
- ※(2) 売上アップ及び生産性向上のための各種セミナーの開催
 - ・SNSを活用した販路拡大に関するセミナーの実施
- (3) デジタル化推進による業務効率化に関すること
 - ・経営に役に立つWEBセミナーのPR
 - ・ICT導入等に活用できる補助金などの周知

3. 部会員の経営課題の把握と解決に向けた情報収集及び支援

- ※(1) 部会員の課題や今後の部会活動に関する情報の収集及び支援
 - ・部会員の業種ごとの経営課題に関する調査・分析
 - ・部会員のセミナー受講ニーズに関する調査・分析
- (2) 部会員スピーチや意見交換等の実施

4. 会員事業所への情報提供

- (1) 各種経営支援に資する補助金等の周知
- (2) 地域開発の動向に関する情報の提供

◇事業の実施に当たっては、他の部会や委員会との連携を図るとともに、必要に応じて視察会を開催することとする。

部会長	キョウワプロテック(株)
代表取締役	吾妻 学
副部長	(株)ウェディングエルティ
代表取締役社長	手塚 健一
副部長	(一財)大原記念財団
副理事長	土田 淳
副部長	(株)クリーンテック
相談役名誉会長	反後 堯雄

* 「21世紀における国民健康づくり運動」とは

「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとし、「誰一人取り残さない健康づくり」と「より実効性をもつ取組み」をキーワードに、令和6～17年度の12年間を想定して厚生労働省が国民の健康増進を目的として展開している運動。自然に健康になれる社会環境の整備や健康寿命の延伸等を基本方針としている。

2. 委員会事業

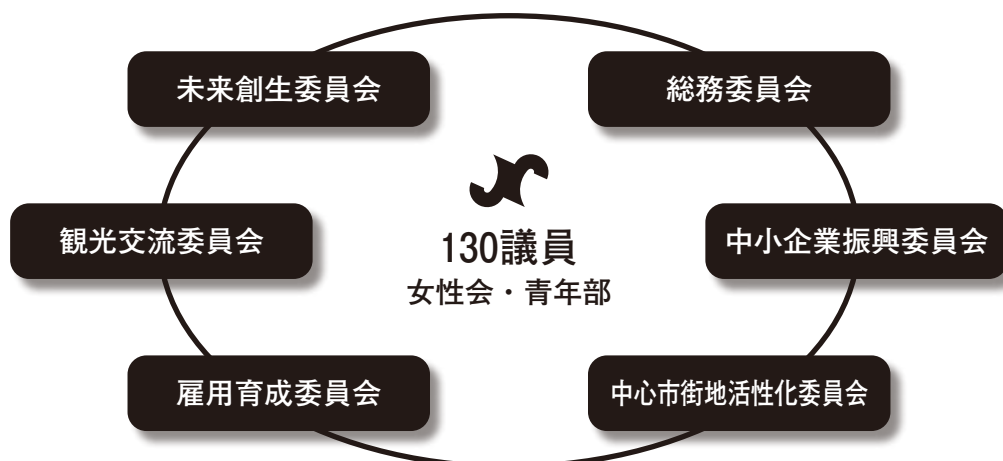
委員会とは

- 「委員会」は、福島市全体の発展を目的とする商工会議所の基盤組織であり、地域の課題に対応するため、議員事業所・女性会・青年部で構成される6つの委員会が設けられており、それぞれの知見を活かした活動を行います。
- 委員長、副委員長の任期は、福島商工会議所 議員任期と同じ期間となります。

福島商工会議所 第31期議員の任期

2022（令和4）年11月1日～2025（令和7）年10月31日

※正副委員長：令和7年3月1日現在



1. 総務委員会

※1. デジタル化・DXの推進に関すること

- (1) 議員に対するデジタル連絡網の活用推進
- (2) デジタル化推進による会議の効率化と業務生産性の向上
- (3) 日商デジタル化・DXに向けたアクションプランを参考としたデジタル化の推進

委員長	(株)山水荘	取締役会長	渡邊 和裕
副委員長	(株)マクサムコミュニケーションズ	代表取締役社長	右近 八郎
副委員長	(株)ウェディングエルティ	代表取締役社長	手塚 健一
副委員長	タカラ印刷(株)	取締役会長	林 克重

※2. 商工会議所財政基盤の強化に関すること

- (1) 創立110周年に向けた議員・職員による会員増強活動の検討、実施
- (2) 会員事業所向け生命共済制度等の加入促進活動の実施
- (3) 損保会社との連携強化による商工会議所団体補償制度の普及促進

※3. 商工会議所組織の活性化に関すること

- (1) 正副会頭・部会・委員会との懇談会等の開催
- (2) 先進事例視察会の実施
- (3) 会員サービス事業の充実

4. 創立110周年に向けた検討

- (1) 令和9年度に実施される創立110周年へ向けた記念事業の検討

～関連する項目においては、当所の他の委員会・部会とも連携し事業を実施する。～



2. 未来創生委員会

～情報発信における発想を転換し、自立創生から共創へ～
(プロセスエコノミー的手法の検討)

委員長	コバックス(株)	
	代表取締役	小林 仁一
副委員長	佐藤工業(株)	
	代表取締役社長	八巻 恵一
副委員長	(株)第一印刷	
	代表取締役社長	古川 幸治

※1. 「ふくしま将来ビジョン」の見直し

- (1) 福島商工会議所創立110周年に向けたアクションプラン等の再構築

※2. 福島が希望を感じるまちになるための調査・研究

- (1) 地方の特性を踏まえた暮らしたくなるまちについて
- (2) 経験を積んだ若者・女性やセカンドキャリアとして福島に戻りたくなる環境について

※3. 福島への愛着を育むことに関する調査・研究

- (1) 衣・食・住・遊のブランディングについて
- (2) 既存土産品等の新たな展開の可能性について

4. 環境・エネルギー・防災に配慮した持続可能なまちの調査・研究

- (1) 防災分野に関するセミナーの開催や先進地視察の実施
- (2) カーボンニュートラルの推進と情報提供

～各部会・委員会と同じ目的の活動については、担当副会頭等と協議の上、各部会・委員会との意見交換に力を入れていく。～

【プロセスエコノミー】

製品やサービスの品質に差がなくなり、良いものをつくるだけでは売れなくなってきた現在において、完成された商品や成果物にだけ価値があるのではなく、それらを制作する過程（プロセス）にも価値があり、その過程が商品になるという考え方。

「ないものがない」社会で育ってきた消費者は、自分らしい人生を生きる上で、物質的なモノより内面的なコトとプロセスを共有し、「役に立つ」よりも「特別な意味を与えてくれるもの」の方が価値が高いと感じ始めている。

共感を得るものは「利他の心」であり、誰かを喜ばせるビジョンのもとに協力しあっていくことでプロセスエコノミーが回っていく。 ※「プロセスエコノミー（著：尾原和啓氏）」より抜粋

(例) NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」、クラウドファンディング、フェアトレードランボルギーニ（機能性は低いですが、乗る意味がある）

3. 中小企業振興委員会

※ 1. 中小企業への伴走型経営支援の強化

- 現下経営課題についての委員間の情報交換並びに当所経営支援事業に関する意見交換の実施
- 経営発達支援計画に基づく伴走型支援事業の実施並びに実施内容の検証
- 価格転嫁やデジタル化など、急を要する経営課題に対する支援
- 資金繰りや経営改善など事業者に対する支援強化
- 福島県中小企業診断協会、福島県よろず支援拠点等支援機関との連携による経営支援活動の強化
- 補助金等を活用した新分野等進出に関する相談支援
- 会員がより相談しやすい経営支援活動の周知

※ 2. 新規創業支援の推進

- 日本政策金融公庫等と連携した創業支援の実施（創業計画作成や創業融資の相談対応等）
- 創業後の経営安定化に向けた支援の実施

※ 3. 事業承継の支援の推進

- 福島県事業承継センター等関係機関との連携による事業承継支援

4. 海外展開支援の実施

- 会員事業所の海外展開や人材採用等に係る情報の提供並びに関係機関と連携した支援の実施

5. 会員事業所応援事業の実施

- 福島商工会議所会員事業所応援事業「福エール賞」の実施

委員長	(株)大丸工務店	
	代表取締役	大和田知昭
副委員長	(株)樋口商店	
	代表取締役社長	樋口 幸一
副委員長	山正酸素(株)	
	代表取締役会長	佐藤 允昭



4. 観光交流委員会

※1. ふくしまデスティネーションキャンペーンへの対応

- ※(1) ハナモモや花見山の花木等の福島が誇る春の花でのおもてなし
- ※(2) 春の「ランチでクーポン」の期間延長と観光客向けラリー応募コースの新設
- (3) 春のイベント「Fukushimaハルフェスinえきまえ2025」のコンテンツ拡充
- (4) 当所会報等による観光事業者および飲食店等に対するDC機運醸成活動
- (5) 県・市の観光関係部局や関係機関との連携による観光情報の発信

委員長	大和自動車交通(株)
	代表取締役社長 大村 雅恵
副委員長	(有)吉川屋
	代表取締役会長 畠 隆章
副委員長	東日本旅客鉄道(株)福島統括センター
	福島駅長 静 徹也

※2. 関係人口拡大へ向けての観光振興策の推進

- (1) 観光DXに取り組む事業者への観光DXの情報提供や補助金サポート等の支援
- (2) インバウンドの誘致推進および台湾等への県内からのアウトバウンド推進
- (3) 市内で開催される大型観光イベントの周知協力やイベントへの出店等の協力
 - ・金曜ロードショーとジブリ展（令和7年7月19日～9月28日）
 - ・大ゴッホ展（第1回展覧会 令和8年2月21日～5月10日）
- (4) 山形新幹線の新アプローチ線新設（令和9年3月）に合わせた「新幹線なすの」の福島発着に関する要望活動および記念イベント等の検討
- (5) ふるさと納税の拡大と体験型を含めた新たな返礼品の掘り起こし

※3. 福島市へのMICE誘致およびロケ誘致活動の推進

- (1) MICE誘致活動の推進に関する関係機関との連携、およびMICE先進地や観光関連イベント等の視察会の開催
- (2) 福島市ロケツーリズム推進会議への支援協力（ロケ場所・素材、飲食店の情報提供等）

4. 福島・相馬・米沢3地域の連携による広域観光の促進

- (1) 福島・相馬・米沢地域経済開発懇談会との連携強化による広域観光および周辺の道の駅等との連携事業の推進

5. まつりや古閑裕而氏を活用した誘客事業の推進

- (1) まつりを活用した観光客誘致活動
 - ① 第56回福島わらじまつり（8月1日～3日）
 - ② 大阪・関西万博への東北絆まつり出演（6月14日、15日）
- (2) 古閑裕而氏のレガシーを活かした各種事業への支援協力

◆各事業を実施する際は、福島市観光コンベンション協会、県・市等の観光担当部局、他委員会・部会と連携を図りながら取り組んでいくものとする。

5. 中心市街地活性化委員会

本市の中心市街地においては、駅前通りの再開発ビルの規模縮小を含めた計画の見直しに伴う開業時期の延期や、福島駅西口のイトーヨーカドー福島店跡地建物の問題など、先行きが見通せない状況が続いており、福島駅東西一体の利活用の検討を図るとともにいかに街なかの賑わいを創出するかが重要な課題となっている。

また、従来の賑わい創出事業に加え、福島駅東西の回遊性や魅力を高める新たな方策も検討していかなければならない。

当委員会として、行政、中心市街地活性化協議会、(株)福島まちづくりセンター、商店街や関連団体と連携して以下の事業を推進していくこととする。

委員長	福島市商店街連合会
会長	小河日出男
副委員長	(株)エスケーコーポレーション
監査役	岡部 政美
副委員長	(株)家具のこばやし
代表取締役	小林 勇一
副委員長	仙台ターミナルビル(株)
SC事業本部エスパル福島	
店長	鹿野 千秋

※ 1. 福島駅周辺のまちづくりに関する情報収集・発信

福島駅東西エリアのまちづくりの進捗状況について情報収集・発信を行うとともに、必要に応じて要望活動等を実施する。

- ① 福島駅東口エリア（福島駅前交流・集客拠点施設など）に関すること
- ② 福島駅西口エリア（イトーヨーカドー福島店の跡地建物）に関すること
- ③ 福島駅東西エリアの連携に関すること

※ 2. 中心市街地全域で開催されるイベントへの支援・協力

- ① 福島わらじまつり
- ※② ふくしまデスティネーションキャンペーン プレDC関連イベント
- ③ コスプレの街ふくしまを目指した「ふくしま街コス」
- ④ 学生・若者が実施するイベント、スポーツ関連など各種団体によるイベント

※ 3. 福島駅東口再開発工事期間中における駅前通りのにぎわい確保

- ※① 駅前にぎわい広場を活用したイベントの開催
- ② 福島駅前元気プロジェクトの継続実施とイベント内容のブラッシュアップ
・ふくしま街コスとの同日開催（アキフェスを予定）
- ③ 花もの木プランター設置を中心とする花のまちフェスティバル事業の継続実施
- ④ 駅前通りホコ天事業への支援、各種団体が駅前通りで開催するイベントへの支援

4. 賑わいづくり先進事例の調査研究及び視察研修の実施

街を回遊する仕組みや街の魅力の再発見などソフト事業を中心とした先進事例の調査研究及び視察研修を行い、新たな賑わいづくりの方策について検討する。

◎関連する項目においては、当所の他の委員会・部会とも連携し事業・視察研修を実施する。



6. 雇用育成委員会

※ 1. 若年層の地元定着支援

- (1) 高等学校との連携強化
 - ・就職担当教諭との意見交換会の実施
 - ・行政で実施している企業説明会への支援・協力
- (2) 学生向けインターンシップの推進
 - ・企業、行政と連携し、インターンシップ機会の情報提供・支援

委員長	福島ガス(株)		
	代表取締役社長	西形	吉和
副委員長	日東物産(株)		
	取締役会長	大橋	廣治
副委員長	(株)古俣工務店		
	代表取締役社長	古俣	猛

※ 2. 多様な人材の活躍推進

- (1) 女性・シニア・障害者・外国人雇用などの促進
 - ・多様な人材、特に障害者雇用の事例の調査及び情報提供
 - ・雇用や育成に関する外部会議への出席及び情報提供
- (2) 職場環境改善等の推進
 - ・アンコンシャス・バイアス（注1）に関する啓発、セミナー等の実施
 - ・人材確保や職場定着に関するセミナー等の実施

3. 人材育成に関する支援

- ・意見交換やセミナー等を通じた専門家等とのノウハウの共有、及び会員企業への情報提供

4. 働き方改革・健康経営の推進

- (1) 健康経営の促進
 - ・健康経営優良法人認定の普及啓発
 - ・ハラスメント、メンタルヘルス対策に関する情報提供
- (2) 労働関連制度改正の周知
 - ・労働基準法・制度改正に関する情報提供

（注1）アンコンシャス・バイアスとは、無意識のうちに抱く偏見や思い込み、先入観などを指す心理学用語です。これらは、気づかぬうちに他者を傷つけたり、自身の可能性を狭めたりするデメリットがあります。アンコンシャス・バイアスがあることを意識し行動することで、よりよい職場や社会の実現に近づけることができます。

～関連する項目においては会議所の他の委員会・部会、行政、団体等と連携し事業を進める。また必要によつては視察会なども行う。～